

## 幸手市出前講座(令和2年10月6日)

幸手市民生委員・児童委員30名を対象に、防災教育支援として「出前講座」を開催しました。テーマは「利根川上流域の洪水リスクと水害マイタイムラインについて」で、始めに利根川上流域や幸手市の水害特性や水害リスクについて理解を深めたうえで、マイタイムラインの作成について学習しました。新型コロナに配慮し、参加者同士の間隔を広く確保して開催しました。

### <開催概要>

日時：令和2年10月6日、14：00～

場所：ウェルス幸手 研修室

参加者：幸手市民生委員、児童委員 30名

## 目的と成果

### ■目的

- 大規模水害に対する「逃げ遅れゼロ」を目指し、利根川上流域における「防災教育の促進」のための支援を行っています。地域の高齢者や子育ての支援を行っている民生委員・児童委員の方々に、地域の水害リスクやタイムラインについて理解を深めていただくことで、災害時の要配慮者等の適切な支援に役立てます。

### ■成果

- 出前講座に参加した民生委員・児童委員の方々が、地域の水害リスクやマイタイムラインについて学習することができました。
- 民生委員・児童委員の方々の防災意識の向上により、災害弱者への支援につながります。
- 本年度は新型コロナの影響で出前講座の開催が減少する中で、感染に配慮して開催することができました。



- 今回の出前講座の情報を関係市区町で共有し、継続的に出前講座を開催し防災教育や防災知識の普及を推進します。



新型コロナに配慮した開催状況



国土交通省による説明



タイムライン学習の様子

# 【行田市】住民等への情報伝達方法の改善【取組 9】

## ◇避難情報等電話配信サービスの導入

### 昨年度までの経緯・背景

- 令和元年東日本台風において、大雨と強風により防災行政無線が聞こえにくい状況の中、緊急情報の入手が比較的困難な高齢者等に対して確実な情報伝達ができなかった。特に、携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方や緊急速報メールを受信できない方に対する有効な情報伝達手段を有しておらず、対応に苦慮していた。

### 実施内容・今年度の実施状況

- あらかじめ登録した方の固定電話または携帯電話に架電し、避難情報や避難所開設情報等の緊急情報を音声で配信する。
- 市報、市ホームページへの掲載に加え、出前講座や民生委員の訪問によりサービスの周知を図っている。

### 実施効果

- 緊急情報の入手方法が防災行政無線に限られていた方に対し、情報を確実に伝達することができる。

### ◇作成例

#### 昨年度までの経緯・背景

防災行政無線の放送については、聞き取りづらいという意見が寄せられることが多く、災害時等の情報伝達手段の多重化が課題であった。

#### 実施内容・今年度の実施状況

特定の電話番号に電話することで、防災行政無線の内容を聞くことができる電話応答装置を導入した。

#### 実施効果（特に令和元年東日本台風にかかわるもの）

住民に対してより多くの情報伝達手段を確保することができた。

## 【杉戸町】住民や教職員を対象とした出前講座（講習会）の実施【取組34】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した避難所訓練
- 第1弾 小学校区の自主防災会の代表者と避難所に配置した町職員による避難所の開設・運営訓練
- 第2弾 上記の訓練を行った小学校の教員への避難所訓練（防災講座）

### 【第1弾 訓練の様子】



### 【第2弾 訓練の様子】

